

砂防講演会

富士山にまなぶ

講演 富士山と雲仙普賢岳

講師 鐘ヶ江管一氏
(前 島原市長)



▲地元富士宮市
赤池助役あいさつ



▲鐘ヶ江管一氏と星野富士砂防工事事務所長との対談



発行
建設省
富士砂防工事事務所
富士宮市三園平1100
電話(0544)27-5221

防災対策の必要性

「災害から地域を守る、生命財産を守る」そして「富士山を美しい姿のままに」を合言葉に、地元二市一町及び関係機関の協力のもとに去る十月十九日、富士宮市民文化会館において、前島原市長「鐘ヶ江管一」氏を講師として迎え、「富士山と雲仙普賢岳」をテーマに一般参加者など三八〇名が集まり盛大に開催されました。

鐘ヶ江講師は雲仙普賢岳のあの強烈で鮮明な災害体験をふりかえり、時には言葉が詰らせず、聴衆よりなみだをさそう一幕もあり、防災対策の必要性、又事前の備えの必要性を切実に訴えられました。

休憩の後、地元北山中学校生徒による勇壮で、可憐な「北友太鼓」の披露があり満場の喝采をあげました。引き続き長井調査課長より「富士砂防だより」の報告、鐘ヶ江講師と星野事務所長との対談で終演となりました。
※講演内容はビデオ、カセットテープに記録し、当事務所に保管してあります。視聴御希望の方は御連絡して下さい。

「北友太鼓」披露

北山中学校
北友太鼓倶楽部

土橋千晴



私たち三年生にとって、北友太鼓クラブとして校外で太鼓を演奏するのはこの砂防講演会が最後でした。忙しい時期と重なってしまい、練習時間も少なかつたのですが、少ない時間を利用して一生懸命練習してきました。曲はすでに覚えていたものの、細かい部分をみんなで合わせる事がなかなかできず、苦労しました。曲の速さがだんだん速くなっていってしまうこともよくありました。一つひとつを完全に直すことはできませんでしたが、練習によって前よりいい演奏ができるようになったと思います。

当日は、聞いて下さるのが大人の方ばかりということ、舞台の上での演奏という事で少し緊張しました。二曲とも練習の成果を十分に出すことができたと思います。練習の時は長く感じる曲も、緊張で短く感じられました。スポットライトの光が熱かったこと、足が滑りやすかったことで大変でしたが音も合って、みんなほとんど間違えなかったようにいい演奏ができました。人を感動させるような演奏ができたか分かりませんが、北友太鼓クラブの演奏を色々な人に聞いてもらうことができ、とても良かったと思います。

雪代災害を未然に防止

栗ノ木砂防ダム工群

完成

栗ノ木砂防ダム工群は、全体で七基の砂防ダムで構成され、昭和六十一年度に栗ノ木第一砂防ダムに着手して以来、平成六年度までの九年間で約十一億円をかけ完成をしました。完成を祝い十一月二十二日、最後に竣工した第五砂防ダムの前で完成記念式典を地元住民代表者、工事関係者、ダム銘板の文字を書いた人穴小学校児童等が出席し盛大に催しました。

栗ノ木沢は富士山頂から滑沢、仏石流しを含む三三・一四kmの流域を持つ溪流です。平成四年十二月に富士山全域で発生した雪代（スラッシュ流崩）は十km下流まで流下し、栗ノ木砂防ダムにより食い止め災害を未然に防止する事が出来ました。



栗ノ木第5砂防ダム
 完成 平成6年11月
 完成標高 734.300m
 堤高 7.5m 長 490m
 建設者 中部地方建設局
 地 主 富士第一建設共同企業体
 揮墨者 富士宮市立人穴小学校

氏名 渡辺 忠雄
 栗ノ木ダムが完成して、この地区は、雪代災害から守られることになり、大いに安心です。このダムが完成して、この地区は、雪代災害から守られることになり、大いに安心です。このダムが完成して、この地区は、雪代災害から守られることになり、大いに安心です。

氏名 赤池 大悟
 栗ノ木砂防ダム完成式典に参加して、大いに感動しました。このダムが完成して、この地区は、雪代災害から守られることになり、大いに安心です。このダムが完成して、この地区は、雪代災害から守られることになり、大いに安心です。



第1砂防ダム

第6砂防ダム

第5砂防ダム

第4砂防ダム

第3砂防ダム



▼第1砂防ダム



記念式典に参加して
人穴小学校児童

シビックデザイン講習会

平成6年7月12日富士砂防工事事務所2F会議室で、名古屋大学助手佐々木葉先生を招き富士砂防工事事務所職員を始め、沼津工事事務所、静岡県富士・沼津土木事務所、富士宮市、富士市、芝川町の職員を対象に59名参加のもと午前中講義で午後は現場見学を行った。

現場見学場所は、「神田川親水護岸」(静岡県富士土木事務所)・「猪の窪沈砂地工」(富士砂防工事事務所)において、周辺景観、空間利用、使用材料等のあり方について現地研修を行った。



猪の窪沈砂地工 (富士宮市芝山)

猪の窪沈砂地工は、現在施工中であるが、国道139号線沿いに施工され周囲には学校、民家があるため修景を考慮し、基幹ダム(L=104m、H=70m)、護岸には模範型枠を使用し着色コンクリートで施工している。



神田川親水護岸
(富士宮市宮町)



濁井川流路工 (富士宮市上井出)

濁井川流路工は大沢川河口より下流に施工された流路工であるが、この管理用道路を地味の方々に親しんで戴くため路面を色の明るい材料で施工し、余白には他事業でミニ公園、ミニスポーツ広場等を配置した。
また、四季の花が咲くよう低木を配し、安全対策として全線模範木柵を施工した。

シビックデザインという言葉は、1988年に土木学会誌の特集を組む際に、篠原修東京大学教授の発案によって誕生した造語である。その後、建設省の主導によって公共土木施設のデザインを進めるためのスローガンの言葉として位置づけられ、今日に至っている。(従って海外で一般に使われることはほとんどない。) いずれにせよこの言葉は、「地域の歴史・文化と生態系に配慮した、使いやすい美しい公共土木施設の計画・設計」と定義されており、戦後高度成長期の「より早く、より安く、より多く」つくるといった特異な価値観を払拭し、質の高い社会資本をつくるための価値観であると言うことだそうである。

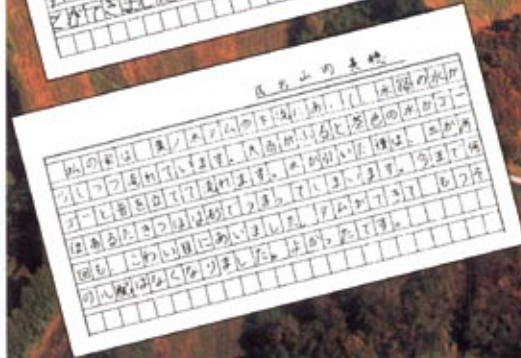
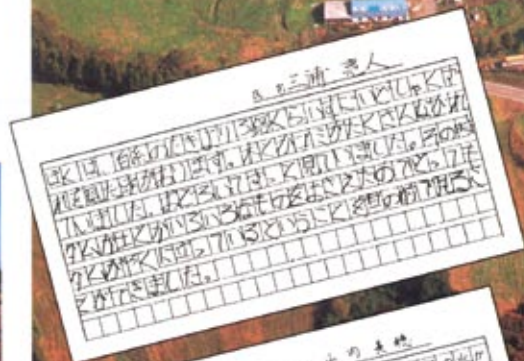
シビック
デザイン
とは

富士山に咲く花 タカネバラ (バラ科)

タカネバラ 日当たりのよい所に生え、高さ1~2mになる。枝はほぼ水平に広がり、紅褐色で細いトゲが多い。葉は対生複葉で、4~7対の小葉をもつ。花は7月頃に枝先に1個つき、直径4cm内外になる。花びらは卵形で、ほぼ水平になって開く。果実はだ円形で、長さ15mm内外、熟すと表面はなめらかで紅くなり、先がくが残っている。五合目から中道沿いに多く見られ、美しい。



第7砂防ダム



各砂防ダムの概要

施設名	施工年度	堤高	堤長	堆砂量
栗ノ木第1砂防ダム	S61/S62	12m	109.5m	38,000m ³
栗ノ木第2砂防ダム	S63	7m	63.0m	2,570m ³
栗ノ木第3砂防ダム	H4	7m	79.0m	2,480m ³
栗ノ木第4砂防ダム	H3	6m	43.8m	1,730m ³
栗ノ木第5砂防ダム	H5/H6	7.5m	49.0m	1,700m ³
栗ノ木第6砂防ダム	H4	7m	79.0m	3,570m ³
栗ノ木第7砂防ダム	H3	6m	75.8m	860m ³

第2

第5

土砂災害防止月間

平成6年6月1日～30日

記念式典 潤井川流路工 環境整備事業

皆さんの新しい
憩いの場の一つ
として、ぜひ、
ご利用下さい。

スポーツ広場が
オープンしました
— 富士宮市上井出 —



▼今流行のバッシュー?がにあうよ、おじいちゃん



▼未来の全日本候補だよ、イエーイ



▼ヨシー、通るか……



▼ジャンプ一番!



ふれあい
広場

みんなが集まる憩いの場

セーフティアップ SABOフェア'94



▶ほく、つばめの赤ちゃんだよ、
富士砂防マスコット
「あまつばめ」くん



▲SABOフェアに花添える、ミス、ミス、ミス

- '94ミス富士山
- 一日事務所長
- 川奈瑞穂さん



▲星野所長よりも真剣なまなざしですね。

'94
イベント
紹介

情報提供のお願い

● 貴重な写真、資料等お持ちの方、また災害体験を有している方の
情報提供をお願い致します。
(連絡先)富士砂防工事事務所(建設専門官山田又は、調査課長井まで)
☎0544(27)5221(内線516又は351)

建設省富士砂防工事事務所
〒418 富士宮市三園平1100 TEL0544(27)5221
富士宮砂防出張所
〒418-01 富士宮市上井出826-1 TEL0544(54)0236
富士山を守り地域の安全に貢献する